

研究課題名：当院における亜鉛・銅欠乏の疫学調査：後ろ向き観察研究

所属（診療科）：循環器内科/集中治療科

研究責任者（職名）：吉田 稔

研究期間：2016年1月1日～2021年12月31日(症例数に応じ研究期間を調整)

【目的】

- 当院における亜鉛・銅両者欠乏例の疫学調査を行い頻度を明らかにする。
- 両者欠乏例の原因・治療法を調査・検証する。

【意義】

近年、「亜鉛欠乏症の診療指針」が出され、亜鉛測定が様々な疾患で推奨されている。亜鉛投与により銅欠乏が生じることもあり、同時に銅の測定も推奨されている。実臨床では、亜鉛・銅の両者の欠乏例が散見される。しかし、両者の吸収は拮抗するため、本邦では有効な治療薬剤や治療指針がなく、治療に難渋することが多い。当院で実際にどの程度両者欠乏例が存在し、その原因・治療法に関してまず疫学調査を行う。文献・症例報告から本邦の治療状況などと比較し、本邦での治療法確立に寄与したい。

【研究内容】

- 対象：2016年4月1日～2021年12月31日の期間に当院で亜鉛と銅両者の測定が行われた人を対象とする(症例数に応じ、研究期間を延期・調整予定)
- 研究方法：横須賀市立うわまち病院における単施設後ろ向き観察研究
- 利用する情報・資料：血清銅、血清亜鉛、血清鉄、セルロプラスミン、アルブミン、CRPなどの微量元素に関連のあるデータ、性別、年齢、体重、身長、BMI、既往歴（透析、肝硬変、外科手術歴等）、入院疾患、入院科。内服薬、生活状況（施設入所中等）、アルコール摂取、栄養摂取方法（経口摂取、中心静脈栄養など）入院日、外来受診日、採血日、院内死亡、転機、その他（利用する情報は後ろ向きに取れる情報のみを用い、研究のために新規に追加で検査・情報を取ることはない。）

問い合わせ先：研究担当者 吉田 稔、情報管理者 栄養部 宮城 朋果

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX:046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)